



ごあいさつ

会長 昭和四十四年卒 西村(平田)曜子



同窓生の皆様、お変わりございませんでしょうか。お伺い申し上げます。長引くコロナ禍の中、ようやく日常を取り戻しつつありますが、いまだに不安を抱えながらの毎日です。この長い自粛期間で人との出会いは少なくなりました。そんな中、思いがけない訃報に接し幾度も落胆しました。今年二月に前会長の佐々木千恵子様がお亡くなりになりました。とても信じ難く、明るくて元気なお姿が今も鮮明に思い起こされます。もつといういろいろとご指導いただきましたたつたのに残念でなりません。また昨年十二月には元校長の野田秀雄先生がお亡くなりになりました。同窓会の総会にはお体が

優れないにも拘らず毎回出席いただいております。同窓会のことをよくご理解くださっていただけに寂しい思いをしております。今年の総会は十月三十日に予定しております。第一部の音楽法要で、お亡くなりになりました方々のご冥福をお祈りしたいと思います。第二部では華頂の卒業生で結成されております『華凛』の美しく厳かな歌声を聞いていただきたく思います。皆様方ぜひご参集くださいますようお願い申し上げます。またロシアによるウクライナ侵攻から半年余り経ちました。寺田バレエアートスクールを主宰されております寺田(高尾)正子様は本校を昭和三十三年にご卒業されました。半世紀以上ウクライナとバレエを通じて交流を深めてこられました。そのウクライナで戦争が勃発し、寺田様の心労はいかばかりかとお察しします。一日も

同窓会総会のご案内
令和4年度
日時 令和4年10月30日(日) 受付 10時30分～
会場 都ホテル京都八条(旧 新都ホテル)
第一部 音楽法要(仏教聖歌)・総会
第二部 懇親会 清興『華凛』のコーラス
会費 10,000円 (写真代を含む)

早く平和が訪れますようお願いを込めて、同窓生として何らかの形で支援できればと思っております。皆様のご理解とご協力を頂きたいとお願ひ申し上げます。
会報に同封のハガキの近況欄にはお元気でご活躍の様子や、学生生活の思い出など読ませて頂くと嬉しくなり、華頂で結ばれたご縁を有り難く思います。
ある雑誌の見出しに「今日をほがらかに生きる」とありました。世の中が不安定でこれからも様々な困難に出合うと思えますが、ほがらかに前向きに歩んで行こうと思えます。どうぞ皆様お健やかに、ご多幸をお祈り申し上げます。

発行所 華頂学園同窓会
〒605-0062 京都市東山区林下町3-456
URL http://www.kacho.ed.jp/
TEL / FAX 075(525)2522
お願い
・住所変更などご連絡の場合は、電話またはFAXでお知らせください。
・御連絡の場合は現性、旧姓、卒業年、クラスなどもお知らせください。
・原稿のご投稿をお待ちしております。(同窓会宛にお願いします)
編集兼発行人 西村曜子

Table with 2 columns: Date (e.g., 8月下旬, 7~8月, 6.25, 5.21, 4.23, 4.7, 3.1, 10.31) and Event Description (e.g., 4年度会報の納品を受ける, 4年度会報作成作業, 役員会, 懇親会, 趣味のサロンについて, 高校卒業式に会長参列(卒業記念品授与), 高校入学式に会長参列, 役員会, 文化祭, 秋期『趣味のサロン』不開講, 令和3年度同窓会総会を中止)

会務報告

ご挨拶

校長 前田千秋



同窓会会員の皆さまには、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃は本会の運営・発展のためにご理解、ご協力頂き誠にありがとうございます。

本年四月、校長に就任致しました。ご推薦いただいた中野正明前校長先生をはじめとして、歴代の先生方に比ぶべくもない浅学非才の身ではございますが、伝統ある本校を預かるものとして、皆様の期待に応えられるよう努めて参る所存ですので、何とぞよろしく申し上げます。

校長室の隣室に、厳重に施錠され、数人をもつてしても容易には動かせそうにない重量の耐火キャビネットが三台並んでおります。そこには大正・昭和・平成ほぼ全ての卒業生の皆さまの記録が収められています。私の知りうる限りでも、校舎の改築や大規模な改修などで何度となく備品や什器の移動があり、そのたびに法定保存期間の過ぎた書類・文書は、必要なものを除き、処分し

てきたはずなのですが、この記録だけは国が定めた保存期間をはるかに超えた今も厳重な管理のもとで保管されています。記載されているのは学籍の記録など、個人情報

の塊ともいえるものですから、扱いには慎重に慎重を期すのは当然のことではありますが、近年に限っても、鍵があいているのを見ることがない開かずの扉でした。

昨年夏、ある依頼を受けてそのタイムカプセルのような耐火キャビネットの鍵を開けたことがあります。そこに収められていたのはおよそ八十年以上前に御卒業された方々の記録でした。底の深い抽斗の中には、丁寧に製本された文書が整然と、まるで昨日整理したかのよう

に並べられており、耐火仕様のせいでしょうか、塵つ見当たりません。そしてその中の一冊を手にとってみると、そこには当時の担任先生がお書きになられたのでしよう、非常にきれいなペン書きで、在学中の学習や学校での活動が詳細に書かれておりました。八十年以上

前の高等女学校生活の記録ですが、インクも退色しておらず、その当時の生徒さんたちの華頂で過ごされた日々が垣間見えるようで、大変不思議な気分ではばらく時間を過ごしたのを覚えています。

それ以後、再び開けてみることはないもの、ことあるごとにキャビネットの抽斗の中に卒業年次順

に整然と並ぶ背表紙を思い出し、責任の重さに身の引き締まる思いを感じています。

記録の残る大正四年以降、本校を卒業された同窓生の数は三万二千余名を超えています。私共の使命は、お預かりしている生徒たちに今に生きる高校生として相応しい学力と表現力・社会への貢献力をお付けして送り出すことですが、同時にこの学び舎

で学んだ同窓生の皆様にいつまでも誇りを持って母校を想っていただけのよう、日々努めることでもあると思っております。

今春、入学者に占める「ファミリー推薦」の割合が五人に二人にまで増加しました。皆様にご縁のある方がご入学され、和顔愛語の校訓のもと、変わらぬ山内のキャンパスで過ごされるというのは素晴らしいことと大変うれしく思いますが、これは皆様から華頂の教育をご信頼いただいている証左であると同時に、その信頼を裏切ることがあつてはならないと考えております。

本年は新規採用の先生方を多くお迎えし、職員室も明るい雰囲気になっていきます。教職員一同今後も精進を重ね、教育に邁進して参りますので、変わらぬご協力を賜りますよう、よろしく

お願い致します。

学園現況

副校長 安達浩士

3回目のワクチン接種も進み、新型コロナウイルス感染症が我々の日常生活に及ぼす影響は徐々にではありますが減少しているように思います。学校行事においては、昨年度の卒業生

は修学旅行を実施することができず、高校生活での一番の思い出となる行事を経験することができませんでした。今年度は、3年生は5月23日から、2年生は7月4日から北海道への3泊4日の修学旅行を実施することができました。私が本校に勤務した30年程前には、夏休みを利用して10日間程度実施していたことに大変驚いた記憶が鮮明に残っています。さて、今年度の入学生は昨年度より15名増となりました。中でも*ファミリー推薦による入学生が全体の約20%を占めているのは、永年に渡る本校の教育活動が評価されていると受け止めています。

また、6月4日に実施した第一回オープンスクールでは新入生の60%を超える生徒が、受験生・保護者のキャンパスツアー等に協力してくれました。これは、入学生の保護者・生徒に実施したアンケートでは、本校進学

先に選んだ理由で、「オープンスクールや入試説明会での印象がよかつた」が1位(87%)になっており、「自分たちが中学生の時に華頂の先輩方から受けた好印象を、今度は私たちが」の思いからくるものだと思います。

さて本校では、2年進級時に「教育・保育系」・「教養系」・「理系」の3つの履修モデルコースから、希望する進学先に合わせて選択することになっています。

この制度の成果もあり、一昨年度・昨年度とも進学希望生徒全員が12月中旬に進学先を確保することができました。また、今年度の入学生からは、社会・メディア分野の学部・学科を指す生徒に対応するために、新たに「メディア・情報系履修モデルコース」を設置しました。

詳しくは本校のホームページをご覧いただけたらと思います。

教員の異動について専任・常勤の先生方だけとなりますがお知らせいたします。昨年度末をもって、佐藤亮子先生(地歴公民科)・小西章文先生(国語科)・若杉輝彦先生(数学科)・佐野泰生先生(国語科)・村端夢乃先生(保健体育科)が退任、

本年4月から足立知代先生(数学科)・小山智樹先生(地歴公民科)・坂本千夏先生(保健体育科)が退任、

(次項へ続く)

科)・大黒雅之先生(国語科)・永井遙先生(保健体育科)・廣田充先生(数学科)・三好高志先生(地歴公民科)・森下千賀子先生(国語科)が就任されました。

最後に、日々母校をお氣にかけていただいている皆様にご心より感謝いたしますと共に、今後ともご支援・ご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。

*フアミリー推薦・受験生本人の四親等以内の親族が、華頂女子中学校・華頂女子高等学校・京都華頂大学・華頂短期大学・華頂短期大学付属幼稚園を卒業卒園、もしくは在学中の園中の場合にこの制度を利用して受験ができます。また入学金(90,000円)が免除されます。

六年間を振り返って



前校長 中野 正明

同窓会の皆さま、一年間のご無沙汰でございました。コロナ禍の状況も今年に入ってオミクロン株への置き換わりによる感染の急激な拡大により一時はどうなるのか心配されたところですが、現在では全国的にも相当落ち着いてきたようで、華頂女子高校におきましても通常の授業、課外活動が行われ、明るく楽しい元気な生徒たちの声がほぼコロナ禍前と同じように戻ってきているように思われ大変嬉しく感じております。

さて、当方この度、一身上の都合により校長職を退任し、新しく前田千秋校長先生にご就任いただくこととなりました。前田先生は、皆さまよくご存じの通り本校に奉職してもう四十五年の経験を有する中等教育の大ベテランであり、とくに本校のことについては隅々までよく把握しておられ、最も適任者であるとの考えから法人理事

会にご推薦させていただいたところでございます。当職といたしましては本米、中等教育にまつたの素人でありましたものを、校長代理として色々と補助していただき実質的に校長業務を代行していただいておりますので、その面で深く感謝をいたしますとともに普段から大変尊敬をいたしておりました。前田先生とは本校の教育の優れた点について種々意見交換をさせていただき、「財務状況の共有化」「教職員組合との相互理解」「中学校、高等学校音楽科の募集停止」「校内ガバナンスの強化、規程化」「授業料減免制度の全面廃止」「履修モデルコース導入」「高大施設の共同利用」「二足制導入」「全職員参加型学校訪問」「入学試験時成績優秀者奨学金制度」「内部進学制度の促進」「高大連携型授業」「北館、クラブボックスの撤去」「ホームページの刷新」「授戒会改革」「生徒運営によるオープンスクール及び入試説明会」「教育方針の具現化」「カリキュラム改革」「いじめ防止及びハラスメント防止ガイドライン制定」「高大連携型進学指導の導入」などなど、

様々な施策を実施することができました。その効果があつてか、就任当初の財政状況からはおよそ想定することが難しく思われていた収支均衡という目標が、令和4年度実行予算時点において何とか達成できるところまで回復させることができました。これは偏に職員が一致協力して危機感を共有し同じ目標に向かって我慢と努力を重ねた結果であると確信しており、感謝に堪えないところであります。

短期大学附属幼稚園長、及び華頂女子高等学校担当理事として、併設校の経営・運営に相應の責任を果たしていく所存でございます。六年間、校長として必ずしも行き届かないところも大いにあつたものと思われます。紙面をお借りいたしました。在任中のご理解・ご支援に衷心より感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご指導を賜りますようお願いいたします。まして校長退任のご挨拶に代えさせていただきます。誠にありがとうございました。ありがとうございました。

令和四年度同窓会総会に向けて

副会長 昭和六十二年卒 山羽(松家)めぐみ

今年には京都三大祭の一つでもある千年以上の歴史を持つ「祇園祭」が、3年ぶりに本来の形で開催されることとなり京都の四条界隈からは祇園囃子の音色が復活してコロナ禍で沈みがちだった私たちの心も高揚してきている今日この頃、少しずつ日常を取り戻しつつある様に感じられております。

令和二年度、三年度の同窓会総会は二年続けて中止となりましたが、今年には感染対策を徹底した形で三年ぶりの開催の準備を進めております。音楽法要をはじめ、清興に

は華頂卒業生のコーラスグループ『華凜』の皆様にご歌っていただく予定をしております。

当日、皆様との再会を楽しみにしておりますとともに感染対策に努めながらの楽しいひと時を過ごしたいと思っております。

京都が色づく秋の十月三十日(日)、会場は都ホテル京都八条です。多くの同窓生皆様のご参加を心よりお待ちしております。



東京支部より

昭和四十一年卒
桑江(中西)日出子

このところ全国的に連日猛暑が続き、六月末には、異例の速さで梅雨明けが発表されるなど、これからの天気がどうなるか気になるところですが、いかがお過ごしでしょうか。

長い間ご無沙汰しておりますが、京都では総会が3年ぶりに再開されるとの知らせに、大変喜んでおります。

この3年間、新型コロナウイルス感染症の拡大で「3密」を理由に不自由なマスク生活を強いられたため、親戚や友人と直接集うことや話し合うこともむずかしくなり、「心の密」まで失いかねない長

い時間を過ごしてきました。そのうえ、今年2月には、ロシア軍によるウクライナ侵攻で、心が痛む悲惨なニュースが毎日のように届いています。

侵入による影響で、ガソリンや日用品などが一齐に値上がりし、私たちの生活も、日々厳しさを増しています。

こうした厳しい状況ですが、会員のきずなを再確認し、結束をさらに強めるため来年こそは東京支部も、総会の再開を目指して頑張ろうと思っております。ご支援をよろしく、お願いいたします。

皆様も、健康管理には十分気を付けて、くれぐれもご自愛ください。

九州支部より

昭和三十五年卒
田中(怡土)桂子

令和四年度の華頂学園同窓会九州支部会としての活動は休止状態です。

報告が何もできなく、来年こそは開催できるようになっていますように、と願っています。

その際は皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

九州支部会の発足当初より、ご尽力いただきご指導いただいた前同窓会会長の佐々木千恵子先生が2月11日に逝去されました。

昭和62年に九州支部を故村田支部長、故忍田副支部長で発足しましたが、佐々木先生は、故櫻藤

元同窓会会長とご一緒にご出席頂いています。

毎年、九州の7県を回って同窓会支部会を開催してきました。

佐々木先生には、九州支部会には殆どご出席いただいています。

長崎の料亭花月では、坂本龍馬がお座敷の床柱に付けた刀傷のある部屋で卓袱料理を楽しみ、おくんち祭りを見物し、佐賀県の唐津市では、唐津焼の中里太郎右衛門の陶房を見学し、登り窯がまだ残っていました。熊本では、森隴外の住居跡や熊本城を見物し、生まれて初めて馬刺しを頂いたとお話しされました。宮崎はシーガイヤーに泊し翌朝は鹿児島県の飫肥城や知覧まで足を延ばしました。

大分県の日田市では、同窓会

終了後、希望者は屋形船で、お酒や料理を楽しみました。

博多の山笠の追い出ならしを同窓会参加者が早朝から見物した日は、雨ですぐ濡れになったのも、記憶に残る会でした。

佐々木先生はこれ等の全てに会に出席され、夫々を楽しんでいただいたお顔を今思い浮かべています。

小さい体で何事にも熱心で、全力で接してくださり、応援していただきました。

思い出はまだまだ沢山あります。お酒落でいつも忙しく厳しく優しい一年先輩で、大きな支えを失いました。

お世話になりました、ありがとうございました。

ご冥福をお祈りいたします。

葵茶会「休止」のお知らせ

昭和四十七年卒 松井(老田)佳寿子

今年はこの紙面をお借りしまして、葵茶会を心待ちなさっておられる方々に、少し寂しいお知らせをすることとなりました。

葵茶会は「休止」とさせていただきます。

コロナの防疫に対しては緩和の方向となり、茶会も開かれるようになっております。が、未だ終息する形とはなっておりません。そのため、予約サイトを立ち上げることでの開催となっております。

所も多い中、考えた結果、そうしたことも難しいということとなりました。そこで一旦、休止しましょうということになったのです。

例えば、昭和29年の4月より、故水野隆樹校長先生の後押しもあつて、同窓生や関係の方々により立ち上げられたのが葵茶会。六十年もの歩みを刻んでまいりました。多くの茶人と茶に親しむ人をうみ出してきたのです。

今後また同窓の中より、お茶会

樟樹会2022

昭和四十八年卒
勤息(岡田)地香子

教職員会のOB会「樟樹会」の総会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で令和二年・三年と中止になっていましたが、今年七月一日(金)に、会場は知恩院(門前の和順

会館で行われます。時間を短縮しての開催です。懐かしい方々とお出合い出来ることを楽しみにしております。(会報が皆様の手元に届く頃には、この総会も無事終えられていくと思います)

樟樹会の発起人でもある佐々木

千恵子先生の思いも寄らない突然の訃報を受け耳を疑いました。亡くなられる二日前(二月八日)の幹事会にいつもの元気なご様子で「では、次回また」と帰られましたのに、まさかという思いでした。

長年同窓会会長としてご尽力いただき、バイタリティーあふれ存在感のある先生でしたので、一層寂しくなります。

ご冥福をお祈り申し上げます。 合掌



2021年度 華頂学園同窓会決算書

(単位:円)

収入の部				支出の部			
項目	予算	決算	差額	項目	予算	決算	差額
前年度繰越金	23,853,868	23,853,868	0	総会会合費	800,000	0	800,000
入会費・会費	1,020,000	1,005,000	15,000	会報費発送(郵送・印刷)	600,000	436,410	163,590
受取利息	2,000	344	1,656	名簿管理費	150,000	110,000	40,000
賛助会費	400,000	360,000	40,000	印刷費(会報除く)	30,000	0	30,000
趣味のサロン会費	250,000	0	250,000	通信費	70,000	54,637	15,363
総会費他	600,000	0	600,000	卒業生記念品代	50,000	47,536	2,464
				慶弔費	50,000	41,500	8,500
				趣味のサロン	250,000	12,000	238,000
				ホームページ維持費	50,000	0	50,000
				消耗品・雑費	15,000	45,058	△30,058
				教育活動費	70,000	0	70,000
				予備費	100,000	0	100,000
				次年度繰越金	23,890,868	24,472,071	△581,203
計	26,125,868	25,219,212	906,656	計	26,125,868	25,219,212	906,656

財産目録

項目	金額	項目	金額
滋賀銀行普通預金	2,495,590	滋賀銀行定期預金	5,000,000
りそな銀行普通預金	287,778	りそな銀行定期預金	15,000,000
ゆうちょ銀行振替口座	1,568,230		
小計	4,351,598	小計	20,000,000
現金		120473	
合計		24,472,071	

2022年度 華頂学園同窓会予算書

(単位:円)

収入の部				支出の部			
項目	本年度	前年度	差額	項目	本年度	前年度	差額
前年度繰越金	24,472,071	23,853,868	618,203	総会会合費	800,000	800,000	0
入会費・会費	930,000	1,020,000	△90,000	会報費(郵送・印刷)	600,000	600,000	0
受取利息	2,000	2,000	0	名簿管理費	150,000	150,000	0
賛助会費	400,000	400,000	0	印刷費(会報除く)	30,000	30,000	0
趣味のサロン会費	250,000	250,000	0	通信費	70,000	70,000	0
総会費他	600,000	600,000	0	卒業生記念品代	50,000	50,000	0
				慶弔費	50,000	50,000	0
				趣味のサロン	250,000	250,000	0
				ホームページ維持費	50,000	50,000	0
				消耗品・雑費	15,000	15,000	0
				教育活動支援費	70,000	70,000	0
				予備費	100,000	100,000	0
				次年度繰越金	24,419,071	23,890,868	528,203
計	26,654,071	26,125,868	528,203	計	26,654,071	26,125,868	528,203

会計監査 高科 弘子 藤田 光子

退職者のあいさつ

華頂での日々

社会学 佐藤 亮子

この三月をもちまして、華頂女子中等高等学校を退職いたしました。三十四年間、社会学の教員として勤めさせていただきました。

おもに日本史や世界史を担当いたしました。最初は中学校に四年間、それ以降は高等学校にて日々の授業担当やクラス担任として、またクラブ活動や行事に携わりました。ここ近年は、クラブ活動や総合学習を通じて、茶道・華道・礼法・ボランティアのお手伝いをさせていただきました。(しばらく前になります)が、エデュコースのカリキュラム「ボランティア講座」を担当したことも印象に残っています。校務分掌では、進路指導を比較的に長く担当させていただきました。高校生にとつて、卒業後の進路を考え、決めていくことはたいへんなことです。しかし、進路行事や模擬試験のモチベーション、進路相談など「未来」を考えるサポートに携わることができたのは幸甚なことでした。

学校生活の中では、読書感想文や行事の感想文、入試の時の志望理由書など文章を書く機会があります。あるとき、志望理由書を書くのに悩んでいたクラスの生徒に「先生、作文を読む時どこでよい作文か決めるの?」と聞かれたことがあります。「文章が上手というより、読んでいてキラリッとしたところに出会えたら、私は素敵な文だと思ってるよ。」と答えたことがあります。(これは私の個人的な意見です)その生徒は「キラリッて、例えばどんな?」と聞いてくれましたが、「キ

ラリ」(勝手に私が名付けています)にはいろいろあります。文章の中では、その人の思いや考えが上手く伝わったり、読む人を納得させたり、考えるきっかけになるような表現かなと思います。日々の学校生活の中にもあります。例えば、英語が苦手な生徒が英単語テストで合格点を取った時、遠足や修学旅行であふれるような笑顔、よほど練習したであろうクラブ発表や試合での真剣な顔、掃除当番が捨て忘れたゴミ袋をいつの間にか片付けてくれた人、しんどくなったり困っている時に何気なく寄り添ってくれる人、好きなことについて話している時のうれしい顔、遠い存在だと思っていた人が同じようなことに悩む仲間だと思えた時、などなど。私自身毎日学校にいて何ができて

いるだろうと思いつながら、でも学校で大勢の人がいて、生徒にも先生にも自分にはない魅力や長所を発見すると、何かとでもうれしくて、それがやめられなくて教員という仕事を続けることができたのだと思います。今後は、学校からは離れたと思いますが、思い出を忘れず暮らしていきたいと思えます。たいへんお世話になりました。卒業生の皆様、そして同窓会の発展を心よりお祈り申し上げます。

退職ご挨拶
国語科 小西 章文
この度、3月31日をもちまして華頂女子中等高等学校を退職いたしました。

た。一年早く離任された坂本先生に声をかけていただいたことが縁で、平成2年度からお世話になりました。32年間大過なく教員生活を送りましたことを幸せに感じています。これも、生徒・保護者の皆様、多くの教職員の支えのおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。心よりお礼申し上げます。

この半生を振り返ると、月日の流れのはやさを痛感するとともに、さまざまな思い出があふれてきます。就任2年目からの北館での中学の担任経験は、教職の楽しさ、難しさ、責任などすべてを教わることができ、私の教員としての基礎となったように思います。

平成18年度卒業の生徒たちは、私が唯一二高校一年から3年まで持ち上がりで担任できた学年でもあって特に思い出深いです。クラブ活動、文化祭等の行事、修学旅行……、さまざまな場面で関わった生徒たちの顔が鮮明に浮かびます。開設時から携わった中高貫課程においては、最後の6期生まで見守ることができてうれしく思っています。彼女たちが卒業していく時、1期生からのみんなを懐かしみながら、「自分の教員生活も終わるんだなあ」とふと寂しさがよぎりました。最後に担当した1年生の生徒たちとは、楽しく幸せな一年間を過ごさせてもらいました。

う力を出すために、勉強したり、本を読んだり、感動したりして自然と力が湧いてくるのだ。力が出たとき初めて『あつ、自分にこんな力があつたのか』と思うのです。」

退職後に本棚の整理をしたときに久しぶりに目にしました。一人一人が自分を信じ、さまざまなことに挑戦しながら「すばらしい力」を発揮できるようにお手伝いできたらいいなと、元気いっぱいの中學生たちと向き合う思いを新たにしたいことを思い出しました。

私が初めて担任をもった中学一年の生徒たちはもう40代半ばになっています。毎年春に別れと出会いを繰り返す、たくさんの生徒と触れ合いましたが、後悔すること、力不足を痛感することが数多く、果たしてどれほどのお手伝いできたのか……。卒業されたみなさん、在校生のみなさんがすばらしい人生を歩んでいかれますように。

末筆ながら華頂女子中等高等学校のますますの発展と、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。お礼と退職のご挨拶とさせていただきます。

お世話になりました!

数学科 若杉 輝彦

2022年3月末をもって28年間にわたりお世話になった華頂女子中等高等学校を退職いたしました。定年よりも少し早めに引退をさせていただきました。30歳で奉職させていただきました。「若手若手」とずつと言われ続けていたのが、気がつけば「中堅」を飛び越して「ベテラン」と言われるようになり、あつという間に28年が経っていたなあというのが正直なところです。勤め始めて3年目から6年間は、

今はなき昭和の香り漂う北館で、生徒とごきぶりにまみれながらII類(特進コース)を担当させていただきました。そこで進路指導や教科指導について多くのことを学ばせていただきました。(後に2年間出戻りましたが、その時は北館の庭で笠谷先生に栽培していたいた菜園の収穫物を生徒たちと一緒に調理して美味しく食した記憶しかありません。笑)

また、中学校(中高一貫課程の含む)を都合10年間担当させていただきました。発達段階が高校生とは全く違う中学生を指導することで、生徒・保護者に対する接し方や指導の仕方や考え、授業の進め方などさまざまなことを学ばせていただき、教員としての幅が広がったように思います。校務分掌では宗教部を除くすべての分掌を経験させていただきました。部活動でも吹奏楽部を約10年近く、その後はあまり好きでない武道(剣道部・空手道部)を担当させていただきました。分掌にしても部活動の顧問にしても初めてのことはかなりの連続で、多くの諸先輩方や同僚に支えていただきながら何とかこなすことができましたように思います。

今は大阪の学校で非常勤講師として少しだけ働いていますが、初めてのことがばかりで戸惑いながらも、華頂で学ばせていただいた「財産」のおかげで何とか勤務できています。

これからも生徒や保護者はもちろん、地域の方々や多くの卒業生に愛され続ける「華頂」であってほしいと切に願っております。

私にとつて人生の半分近くを華頂で過ごさせていただきました。多くの財産をいただきました。本当にお世話になりました。ありがとうございます。

あこがれの君 佐々木千恵子先生

昭和四十五年卒
藤田(有田)光子

あまりの突然のお別れ、悲しくて悲しくて…。
楽しい事も大変な事も一杯ありました。生徒部で一緒に居た西田薫先生、佐藤博孝先生、菅井利光先生、山本加代子先生、生徒部の仕事も、先生方とよく話し合われ、真摯に取り組んでおられました。
親睦会で遅くなりご自宅に泊めていただいた事もありました。

追悼 佐々木 千恵子様を偲んで

昭和三十四年卒
田村(荒木)勢津子

私が佐々木様に出会いましたのは高二のクラス替えの時でした。互いに目で「ほっと」微笑みつつ、二年四組山本学級の列に並んだ時でした。お父様が早く亡くなられたのか、高二で京都仏光寺の叔父様の家に下宿され、叔父様の呉服商のお仕事を手伝いながら勉学に励まれ、京都府立大学を卒業後、母校の華頂高校の社会学科の先生に迎えられました。退職後

お互い夜型で夜中に食器棚を片付けたリ、よく似ていました。十二時過ぎてからのラインの交換等思い出はつきません。
七十一才になっても何のお返しもできないままでした。少しでもお役に立ちたいと思い同窓会、樟樹会(教職員のOB会)とお手伝いさせていただきました。先生がおられたからこそ、今の私があるのです。

教師生活も定年まで勤めあげ、家庭では男子二人を育てあげ、ご立派でした。ご主人様の事を、治郎さん治郎さんとおっしゃって、可愛らしい女性でもありました。何事も、とことんやり遂

追悼

は同窓会会長を十二年努められて、本当に何事にも熱心で優秀な友人に出会えましたことは「人生の宝」と思っております。
卒業後は宇治、大原、京都博物館、神戸の相楽園など、同期の友だちと訪れましたことを懐しく思い出しております。
私どもの人生に豊かな良い思い出を残し、天国に旅立たれました。本当にありがとうございます。安らかに眠り下さい。



げる。同窓会会長としても、一生懸命に取り組まれ、尊敬していました。その先生の足元にも及びませんが、一回り下の同じ卯年というだけで、自分自身の事を誇らしく思っていました。大好きでした。
今後はゆつくりとしてください。安らかに。



石崎宏男先生を 偲んで

音楽科昭和四十一年卒
荻野(河田)容子

五月の中旬、同窓会の榊さんからお電話をいただき、同窓会会報に恩師、石崎先生の追悼の言葉を寄せてください、とのことがありました。最初は少しためらいましたが、先生との思い出の端を述べさせていただき、感謝を私なりに表したいと思えました。
出会いは確か、昭和三十九年四月、音楽科二期生として教を受けた時からでした。当時、十三人が入学しました。その内十人が、福岡、富山

華頂卒業生のコーラス『華凜(かりん)』 石崎宏男先生を偲んで

昭和五十一年卒
荒井(亀田)倫子

五月十四日、石崎宏男先生の「百箇日納骨音楽法要」に心を込めて「聖歌」を捧げました。
東北大地震チャリティコンサート、老人施設の定期的なボランティアコンサート、法然上人八百年遠忌音楽法要コンサート等への出演は先生とコーラス華凜の貴重な思い出となりました。

2013年秋の「知恩院三門ライトアップコンサート」出演の折には、それまで雲隠れていた月が「月かげ」を歌い始めると、雲の絶え間より現れ、荘厳で美しい月夜でのコンサートとなりました。
石崎先生と華凜のこれらの思い出はずっと私の心の中に生き続けるで



合掌

奈良、愛知県等の地方の出身者で、三年間寮生活を送りました。音楽という同じ目標を持った同志として、競争したり励まし合ったりして、辛かったけれど、楽しみもある青春の歩みを経験し、一生の記憶に残ることとなったと思っております。
音楽科がスタートして二年目、先生方も生徒たちを何としてでも希望の大学へ進学させようと情熱を傾け指導されました。石崎先生もそのお一人で、声楽基礎、発声、イタリヤ語の発音等音楽を学習するための技術、スキルだけでなく、人の心に訴

えることが大切であり、それをどう表現するか等々を教えていただきました。先生は生徒一人一人の個性(才能)を大切に、それを見つけ出し、伸ばしていく、厳しさの中にも優しさのある指導でした。
先生の指導で私も、目標である東京芸術大学音楽科に入学させていただきました。本当に感謝をしています。その後の人生において、先生の教えを引き継ぎ、後進の指導の抛り所としていきます。
結びにあたり、先生のご冥福をお祈りいたします。

昭和30年卒業生 最後の同窓会

昭和三十年卒
高矢 文字

コロナ禍により3年も待ちました。でも歳だけは待ってくれませんでした。

この待つている時間に色々な事が起こり決断を余儀なくされ3月29日に開催いたしました。

今回の出席者は12名、ホテルではなく伏見の酒蔵を利用しました。

約2時間の昼食、談笑、酒蔵見学、坂本龍馬ゆかりの街を散策。

江戸時代から水運に利用された宇治川、濠川を利用した十石舟。大阪まで通った三十石船。昔を偲びながら酒蔵の景色を眺める約1時間余りの船旅です。

弁天浜から十石舟に乗船し、三栖閘門迄の桜のトンネル、約20分で伏見港で下船。

記念館で休息。次の舟が来たら乗船し元来た道を帰る。

三栖の閘門は伏見城の外濠と宇治川の水位差が4.5メートルありその水位の差を調整する為に完成された。(この運河はパナマ運河の構造と同じだそうです)

幸い天候に恵まれ出席者全員が乗船、水面に浮かぶ花びら、花筏にも風情を感じ満開の桜にも祝福されました。

私達、華頂で学ばせて頂いたお陰で知恩院参拝、授戒、仏教の授業、そして校訓「和顔愛語」お釈迦様の説く六波羅蜜、生老病死、精進する事の大切さ、何一つとして無駄なことは無いと知りました。この歳まで生かされていることへの感謝です。この

ように最後の同窓会は人間として生きる意味の大切さを教えられました。

なお世界情勢不安ななかロシアの戦争が1日も早く終結する様に祈りますと共に同級生の皆様方の末永いご健勝を祈念します。

そして繰り越し金としてお預かりして居ります金5万円は出席者全員の賛同を得てウクライナに寄付する事になり4月12日京都市役所に幹事3人で持参いたしました。

文化祭・体育祭

2019年以降、文化祭、体育祭ともに新型コロナウイルス感染防止のため中止となっていました。今年度から5月の球技大会も縮小開催して様々な学校行事の再開の兆しが見えてきました。今年度から文化祭・体育祭(スポーツ大会に名称変更)も規模を縮小して行う予定をしており、6月現在、内容の検討を行っているところです。学校生活の様々な面で制限がありましたが、通常の日常に戻り生徒たちの笑顔で活発な姿が生まれる瞬間が増えるよう取り組んでいきます。

～行事予定～

- 9月8日(木)、9日(金) 文化祭
- 10月1日(土) スポーツ大会(午前中)
- 10月3日(月) スポーツ大会 予備日(午前中)



令和4年度 趣味のサロン

秋期講座 募集中止のお知らせ

2020年の春期講座より、新型コロナウイルスによる感染拡大のため学校の施設使用許可がおりず、講習を中止して参りました。再開を心待ちにしてくださっている方も多くいらっしゃると思います。

今年こそ再開できないかと、秋以降の学校の施設使用について学校側と相談いたしました。残念ながら今回も使用を許可していただくことができませんでした。

つきましては、新型コロナウイルス感染予防のため、昨年に引き続き今年の秋期講座も募集を中止することになりました。趣味のサロンにご参加いただいている皆様はじめこれから参加を予定していただいていた方々には大変申し訳ありませんが、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

6月末より感染者数が再び増加しているようです。一日も早く以前のようにウイルスを気にすることなく、皆様と楽しく集える日が来ますようお願いしております。

趣味のサロン係

入試に関するお知らせ

【1次入試】

試験日	2月10日(金)	
出願期間	1月10日(火)～20日(金) 郵送のみ ※1月20日(金)の消印まで有効です。	
試験科目	推薦専願	国語・数学・英語(各50分)・面接
	併願	国語・数学・英語・理科・社会(各50分)
出題範囲	「京都府公立高等学校入学者選抜における学力検査問題の出題範囲」に準じたものとします。	
合格発表	2月13日(月)レターパックプラスで発送。2月14日(火)到着予定。 合格者には、「入学の手引き」を同封します。	
提出書類	1.入学願書 2.報告書(調査書) 3.入試結果通知用宛名ラベル2枚(願書裏面にあります)※はがさないでください 4.推薦書(推薦・クラブ推薦のみ) ※出願書類の用紙は、本校指定のものを使用してください。	
出願方法	提出書類一式を郵送してください。 ※出願する場合は、本校指定の封筒をご利用ください。 (10月以降、本校開催の入試説明会および相談会等で配布します)	
受験料	20,520円 ※受験料20,000円に受験票郵送料520円を含んだ金額20,520円を郵便局で振り込み、 払込受付証明書を願書裏面に貼付してください。	

【ファミリー推薦】 ファミリー推薦受験の合格者は、入学金(90,000円)を免除します。

受験対象	学業・人物ともに優れ、成績において一定の条件を満たしていること。 入学後も勉学に励み、充実した学校生活を送る意志がある者。
推薦者	京都華頂大学・華頂短期大学・華頂女子中学校・華頂女子高等学校・華頂短期大学附属幼稚園・華頂 高等学校等旧制諸学校を卒業・卒園、もしくは、在学・在園中の者の4親等以内の親族。

※事前申請が必要です。「ファミリー推薦出願確認書」を10月1日～12月26日必着で提出してください。

〈お問い合わせ 華頂女子高等学校入試部まで 電話:075-541-0391〉



HP



LINE



Facebook

華頂女子高等学校のイベント情報

- ・ 第3回オープンスクール 9月24日(土) 9:30～
- ・ 幼稚園教諭体験講座 10月15日(土) 午前
- ・ 第1回入試説明会 10月29日(土) 14:00～
- ・ 第2回入試説明会 12月3日(土) 14:00～

イベント詳細・
ご予約はこちら!

